

- 1 実習期間  
令和8年8月17日(月)から9月3日(木)のうち所属が指定する12日間(週4日×3週間)
- 2 受入予定実習生数  
16名程度(行政10名、土木(総合)6名)
- 3 申込手続  
応募フォームから学生ご自身で申込手続をしてください。
- 4 受入職種・受入先・実習内容一覧

職種	実習所属		受入予定数	テーマ	備考
(1) 行政	①	総務部 人事課	2名	働き方改革案および採用強化策の検討	全国的に公務員志望者が減少する中、県庁を志望する若者等の増加に向けて、人財発掘ディレクターを設置しています。チームの一員として活動に随行いただくほか、魅力ある職場環境の整備にむけた対策案を検討いただけます。
	②	未来創造部 DX推進課	2名	AI等のデジタルツールを活用した庁内業務改善の検討	本県では、職員の業務負担軽減や県民サービス向上を目的に、デジタルツールを活用した庁内業務の見直しを進めていますが、現場にはなお改善の余地がある業務が残っています。県庁内の実際の業務を対象に、担当課へのヒアリングから課題を捉え、生成AIやRPA、業務アプリ(kintone等)といったデジタルツールを活用した具体的な業務改善策を検討・提案していただきます。さらに、業務アプリや自動化フロー(RPAシナリオ等)の試作にも取り組み、「自分のアイデアで行政を変える」実践的なプロセスを体験していただきます。
	③	防災安全部 県民安全課	1名	県民の安全安心のための意識啓発の企画	県民が安全で安心して暮らせる地域社会づくりを進めていくためには、県民一人ひとりが暮らしの中での安全・安心を意識してもらう必要があります。交通安全の推進、地域の防犯・見守り活動、消費者行政など分野において、県の取組みを学んでいただくとともに、意識啓発に向けたターゲット層の分析や効果的な啓発手法の企画立案を行っていただきます。
	④	交流文化部 誘客推進課	2名	誘客を推進するための発信手法の検討や企画の立案	トップブランドと協働で行う施策のPR企画や、若年層の視点から本県への旅行の動機付けにつながるPR施策の立案を行っていただきます。また、出向宣伝におけるアンケート結果の分析を行い、その結果を踏まえた新規施策の立案や既存施策の改善提案を検討していただきます。さらに、本県のお城・城跡が有する魅力の発信方法について検討し、中世の歴史に特化したバスツアーの企画立案などを行っていただきます。
	⑤	健康福祉部 健康政策課	1名	若者に健康づくりに取り組んでもらうための効果的な発信手法の検討や企画の立案	生活習慣病予防のためには、若年(働き盛り)世代からの健康づくり習慣の定着が重要です。県内20~30歳代では男性の肥満者割合が増加する一方、女性の痩せの割合が増加しているなど性別に応じた課題が見られます。県で実施している「ふくい100彩ごはん」「省塩プロジェクト」「はびウォーク」「快眠ふくいキャンペーン」などの健康づくり施策について、若者が取り組みたいと思える効果的な発信方法や、具体的な企画の検討を担当職員とともに行っていただきます。
	⑥	産業労働部 商業・市場開拓課	1名	県内において海外展開に取り組む企業の分析	県では、海外展開支援の前提として、県内企業の技術・商品やニーズ等の調査を実施しています。担当職員に同行し、県内企業からの聞き取りを通じて得られた結果を基に、企業のグループ分けやグループ別の支援策の立案を行っていただきます。
	⑦	教育庁 教職員課	1名	教職員のウェルビーイング向上と教職の魅力発信に関する企画提案	教職の魅力向上と発信に向けては、現職教員のウェルビーイングの向上と将来の担い手双方の視点を踏まえ、多様な対象に響く価値や可能性を見いだすことが求められています。こうした状況を踏まえ、働きやすさと働きがいの両面から教職の魅力をつなぎ直し、学生の視点を生かした取組や効果的な発信について、企画・提案に取り組んでいただきます。
(2) 土木(総合)	①	農林水産部(農業土木)	6名	福井県行政における農業土木技術職員募集の企画立案	食料の安定供給や農村地域の防災・減災を通じて食料安全保障を支える農業土木職員の業務について理解を深めていただきます。その上で、インターン生の視点を生かし、職員募集方法の企画立案に取り組み、農業土木職にやりがいを感じる人材の確保につなげていただきます。
		土木部		福井県における公共工事の業務遂行について	入庁後に必須の経験となる土木事務所での業務体験を通じて、県の公共事業の業務の進め方を紹介します。プロジェクト(工事発注・施行管理)が進行する中で発生する課題について、共に解決策を検討していただきます。

【注意事項】

- ・申込多数の場合は、来年度の就職活動が見込まれる学生(大学3年生等)を優先します。
- ・申込多数によりインターンに参加できなかった学生や、受入希望先での実施が困難な学生については、別途県庁ナビゲーター制度による面談制度を紹介します。【「福井県 ナビゲーター制度」で検索】
- ・インターン受入決定後のキャンセルは、受入先部署だけではなく、見学等をお願いしている関係機関にも迷惑がかり、翌年度以降も応募者が受け入れてもらえない可能性もございます。正当な理由なく辞退することは控えていただくようお願いいたします。